

○ 医療ソーシャルワーカーって？

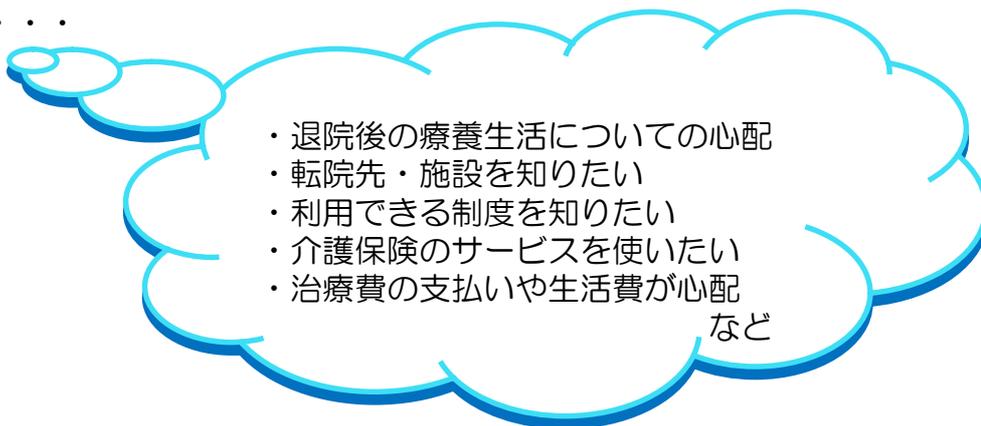
「医療ソーシャルワーカーって何をしている人？」「相談したいことがあるけど、どこに行けばいいの？」…そんな疑問をお持ちではないですか？

今回は、医療ソーシャルワーカーの役割について、経営企画課 池田洋美さんに説明していただきます。

はじめまして、4月より医療ソーシャルワーカーとして着任しました。

医療ソーシャルワーカーとは、生活面の不安や困りごとの相談に応じ患者さんや患者さんのご家族の支援を行います。突然のけがや病気、長い療養生活・入院生活の中で、入院費用のことや介護のことなど、あらたな心配や問題が生じることはよくあります。そのような問題に対して、よくお話を伺い、社会福祉の立場から一緒に考え、院内外のスタッフと協力し解決のお手伝いをしていきます。

例えば・・・



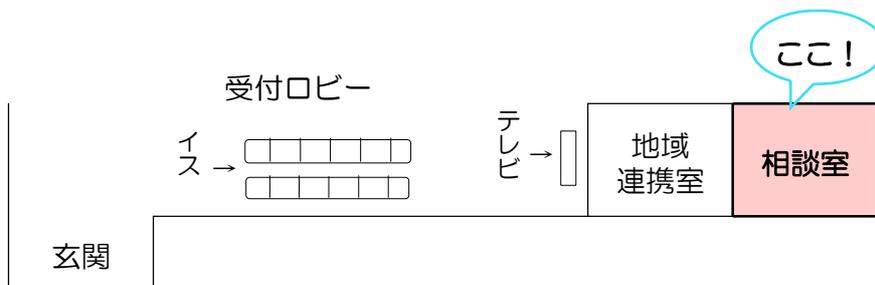
○相談費用は無料で、相談内容についての秘密は守られます。

○相談方法はお近くの看護師又は本館1階経営企画課 医療相談までお気軽に声をおかけください。相談時間にゆとりを持ちたい方はあらかじめ、ご予約をお願いします。

○受付時間 月曜～金曜 8：30～17：15 （祝祭日・年末年始はのぞく）

○場所

受付	会計	薬局受付



着任して日も浅く経験不足ではありますが、誠実に一生懸命対応させていただきますので、よろしくお願いします。

池田

○ イベントのお知らせ

第10回 リハビリ教室

日時 平成22年11月18日(木) 午後2時30分から

場所 安芸病院西館2階 機能訓練室

テーマ 『五十肩と体操』

講師 安芸病院リハビリテーション科 理学療法士 谷岡 博人

※当日参加費は無料です。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

平成22年度第2回 ふれあい医療教室

日時 平成22年11月27日(土) 13:30開場 14:00開演

場所 安芸市民会館 大ホール

テーマ 1. 大腸のポリープについて

[県立安芸病院 消化器科医長 石原 剛 先生]

2. 身近な皮膚病

[県立安芸病院 皮膚科医長 廣瀬 康昭 先生]

※入場料は無料です。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

○ 地域連携室からのお知らせ

10月27日に“けいぞくの輪”研修会を開催しました。

平成19年度より年1～2回地域の医療機関や施設の職員の方との交流と知識向上を目的に行っています。日ごろのケアの中でもっと深く学びたい、また他の施設ではどんな風に行っているだろう、などをきっかけに始まりました。昨年度は胃瘻（口から食べることが困難な場合にお腹にチューブを挿入して栄養を注入すること）について行いましたが、今回は栄養について焦点を当て、『NSTの有用性』をテーマに当院のNSTチーム（栄養サポートチーム）で活躍中の直木先生に講演をお願いしました。

講演では、絶食期間をいかに短くして、口から食べることが大切であるかを教えてくれました。私たちは口から食物を食べることによって消化管を働かせ、体にいい働きをもたらしているそうです。栄養が低下すると・・・

- ・体の筋肉量が低下し、動きが悪くなり転倒しやすくなる、体重が減少する
- ・免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなる
- ・傷ができやすくなる、治りにくくなる
- ・疾患が治りにくくなる

などの悪影響が現れるようです。また、癌の患者さんも癌そのものでなく、栄養障害が起これば死亡することが多いことがわかっているそうです。このようなことから、NST（栄養サポートチーム）が介入することで栄養管理面を整えることができ、患者さんにとってよい効果をもたらすことができるという内容でした。



当日は院外の看護師、栄養士、ST（言語療法士）、ケアマネージャー、介護福祉士、ヘルパー、保健師等いろいろな職種の方々が参加してくださり、知らなかったことを教わることができた、勉強になったと感想をいただきました。

今後も、地域の病院や施設の職員の方々と、交流を深めながら研修会を開催していきたいと思っています。

